



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月15日

上場取引所 東

上場会社名 さくらインターネット株式会社

コード番号 3778 URL <http://www.sakura.ad.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 邦裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 川田 正貴

TEL 06-6265-4830

四半期報告書提出予定日 平成22年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	4,211	10.2	654	140.9	646	153.6	298	528.9
22年3月期第2四半期	3,820	8.8	271	36.6	254	43.2	47	△73.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	6,888.44	—
22年3月期第2四半期	1,068.21	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	5,459	2,010	35.7	44,979.66
22年3月期	5,077	1,755	33.4	39,091.23

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 1,951百万円 22年3月期 1,696百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	1,000.00	1,000.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	11.4	1,050	40.3	1,030	42.3	550	△3.0	12,676.32

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 43,388株 22年3月期 44,998株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 一株 22年3月期 1,610株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 43,388株 22年3月期2Q 44,488株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.4「(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第2四半期累計期間】	7
【第2四半期会計期間】	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料、動画、主なQ & A等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。  
・平成22年11月4日(木)・・・・・・機関投資家向け決算説明会

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、欧米経済の低迷や急激な円高進行などにより、一時は回復基調にあった景気動向も再び減速懸念が強まりつつあります。

このような厳しい経済情勢を反映し、国内IT市場においても低成長が続いておりますが、コンテンツのリッチ化にともなうデータ(トラフィック)量の増大や企業のIT環境に対する意識の変化などにより、当社の所属するインターネットデータセンター市場においては、比較的高い成長を続けております。

こうした状況の中、当社はコストパフォーマンスに優れたサービスを継続的に提供することによって、他社との差別化を図ってまいりました。その結果、新サービスの投入や既存プランの機能強化などが奏効し、当第2四半期累計期間の売上高は4,211,350千円(前年同期比10.2%増)となりました。

営業利益につきましては、売上高の増加に加え、収益性の高いホスティングサービスの売上構成比が増加したことや前期にサービス提供を終了したオンラインゲームサービスに関する経費支出が無くなったこと、販売管理システムの減損にともなう償却費負担が減少したことなどにより、654,665千円(前年同期比140.9%増)となりました。

経常利益につきましては、営業利益の大幅な増加と有利子負債の圧縮による支払利息の減少などにより、646,079千円(前年同期比153.6%増)となりました。

四半期純利益につきましては、資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う影響額と固定資産除却損の計上などがあったものの、経常利益の大幅な増加や前期に発生した販売管理システムに係る減損損失が当期は発生しなかったことなどにより、298,875千円(前年同期比528.9%増)となりました。

サービス別の状況は以下のとおりです。

#### ① ハウジングサービス

競合企業のデータセンター新設・増床によるラック供給量の増加や、企業のITコスト削減要求の高まりなどにより、厳しい受注環境が続いているものの、営業活動に注力した結果、ハウジングサービスの売上高は1,508,812千円(前年同期比1.0%増)となりました。

#### ② 専用サーバサービス

ソーシャルアプリに代表されるモバイルコンテンツ市場の急成長を背景に、既存サービスの機能強化に取り組んだ結果、前期に提供を開始した「専用サーバ Platform St」の好調な受注などにより、専用サーバサービスの売上高は1,560,599千円(前年同期比25.7%増)となりました。

#### ③ レンタルサーバサービス

低価格帯サービスへの需要増と顧客ニーズの多様化を背景に、新プランの投入や既存サービスの機能強化に取り組んだ結果、レンタルサーバサービスの売上高は705,390千円(前年同期比25.1%増)となりました。

④ その他サービス

新たに投入した「さくらのVPS(平成22年9月1日より提供開始)」の受注は好調な滑り出しを見せておりますが、前期に提供終了したインターネット接続サービスやオンラインゲームサービスに係る売上高の剥落やサーバ構築コンサルティングサービスの受注減などにより、その他サービスの売上高は436,548千円(前年同期比16.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産・負債及び純資産の状況)

① 資産

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ382,189千円増加し、5,459,708千円(前事業年度末比7.5%増)となりました。主な要因は、敷金及び保証金の減少46,072千円などがあったものの、現金及び預金の増加179,062千円、貯蔵品の増加55,133千円、工具、器具及び備品の増加152,932千円などによるものです。

② 負債

当第2四半期会計期間末の負債の合計は、前事業年度末に比べ126,887千円増加し、3,449,358千円(前事業年度末比3.8%増)となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の減少92,227千円、長期リース債務の減少68,773千円などがあったものの、未払法人税等の増加193,000千円、資産除去債務の計上78,794千円などによるものです。

③ 純資産

当第2四半期会計期間末の純資産の合計は、前事業年度末に比べ255,302千円増加し、2,010,349千円(前事業年度末比14.5%増)となりました。主な要因は、利益剰余金の増加175,953千円と自己株式の消却79,534千円などによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は期首残高から179,062千円増加し、当第2四半期累計期間末残高は1,351,132千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況と主な要因は、次の通りです。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は、996,949千円となりました。主な要因は、たな卸資産の増加額55,133千円などがあったものの、税引前四半期純利益554,211千円、減価償却費444,992千円などがあったことによるものです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間において投資活動の結果支払われた資金は、509,312千円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出513,248千円などによるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間において財務活動の結果支払われた資金は、308,310千円となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出143,658千円、リース債務の返済による支出131,667千円などによるものです。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の業績につきましては、収益性の高いホスティングサービスの売上構成比が当初計画以上に高まったことと、第2四半期までに発生すると見込んでいた費用の一部が第3四半期以降にずれこんだ影響などにより、当初計画を上回る結果となりました。

このような業績動向を踏まえ、平成22年4月26日に公表した通期の業績予想を次のとおり修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 8,700	百万円 900	百万円 880	百万円 520	円 銭 11,984.88
今回修正予想 (B)	8,700	1,050	1,030	550	12,676.32
増減額 (B-A)	—	150	150	30	
増減率 (%)	—	16.7	17.0	5.8	
(ご参考) 前期実績 (平成22年3月期)	7,812	748	723	567	12,906.39

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

#### ① たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益が7,089千円減少し、税引前四半期純利益が76,836千円減少しております。

### (3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

### 3. 四半期財務諸表

#### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,351,132	1,172,070
売掛金	369,178	331,018
貯蔵品	201,518	146,385
前払費用	111,856	97,610
その他	154,568	145,748
貸倒引当金	△20,535	△20,279
流動資産合計	2,167,719	1,872,553
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,045,140	1,087,898
工具、器具及び備品(純額)	1,583,613	1,430,680
その他(純額)	135,329	68,528
有形固定資産合計	2,764,084	2,587,107
無形固定資産		
ソフトウェア	58,853	90,565
その他	6,261	8,659
無形固定資産合計	65,114	99,224
投資その他の資産		
投資有価証券	21,600	21,600
関係会社株式	—	0
長期前払費用	39,628	49,397
敷金及び保証金	392,757	438,830
その他	8,803	8,803
投資その他の資産合計	462,789	518,632
固定資産合計	3,291,988	3,204,964
資産合計	5,459,708	5,077,518
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	209,678	179,816
1年内返済予定の長期借入金	195,089	287,316
未払金	432,656	424,029
未払法人税等	264,000	71,000
前受金	1,450,306	1,396,657
賞与引当金	98,371	99,718
その他	310,499	333,764
流動負債合計	2,960,600	2,792,302

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	—	51,431
リース債務	409,963	478,737
資産除去債務	78,794	—
<b>固定負債合計</b>	<b>488,758</b>	<b>530,168</b>
負債合計	3,449,358	3,322,471
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>	<b>895,308</b>	<b>895,308</b>
資本剰余金	250	250
利益剰余金	1,056,019	880,065
自己株式	—	△79,534
<b>株主資本合計</b>	<b>1,951,577</b>	<b>1,696,090</b>
新株予約権	58,771	58,956
<b>純資産合計</b>	<b>2,010,349</b>	<b>1,755,046</b>
負債純資産合計	5,459,708	5,077,518

(2) 四半期損益計算書

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	3,820,749	4,211,350
売上原価	2,798,210	2,789,894
売上総利益	1,022,539	1,421,456
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	164,915	178,269
賞与引当金繰入額	40,669	40,006
貸倒引当金繰入額	—	255
その他	545,210	548,260
販売費及び一般管理費合計	750,795	766,790
営業利益	271,743	654,665
営業外収益		
受取利息	374	295
関係会社業務支援料	—	3,289
技術指導料	—	1,645
還付加算金	1,675	—
その他	763	189
営業外収益合計	2,812	5,420
営業外費用		
支払利息	19,514	13,947
為替差損	—	58
その他	309	—
営業外費用合計	19,823	14,006
経常利益	254,732	646,079
特別利益		
貸倒引当金戻入額	11,926	—
関係会社株式売却益	—	4,000
新株予約権戻入益	—	185
特別利益合計	11,926	4,185
特別損失		
固定資産除却損	—	26,305
減損損失	202,520	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	69,747
特別損失合計	202,520	96,052
税引前四半期純利益	64,138	554,211
法人税、住民税及び事業税	3,175	254,821
法人税等調整額	13,441	515
法人税等合計	16,616	255,336
四半期純利益	47,522	298,875

【第2四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	1,948,269	2,117,061
売上原価	1,408,780	1,402,513
売上総利益	539,488	714,548
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	83,139	84,512
賞与引当金繰入額	20,909	19,150
貸倒引当金繰入額	—	△7,514
その他	274,056	277,956
販売費及び一般管理費合計	378,106	374,104
営業利益	161,382	340,443
営業外収益		
受取利息	145	135
関係会社業務支援料	—	822
技術指導料	—	1,645
還付加算金	1,675	—
その他	191	357
営業外収益合計	2,012	2,961
営業外費用		
支払利息	9,493	6,621
その他	256	—
営業外費用合計	9,749	6,621
経常利益	153,644	336,783
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,842	—
関係会社株式売却益	—	4,000
新株予約権戻入益	—	185
特別利益合計	1,842	4,185
特別損失		
固定資産除却損	—	26,276
減損損失	185,810	—
特別損失合計	185,810	26,276
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△30,323	314,692
法人税、住民税及び事業税	△5,931	139,106
法人税等調整額	18,780	△15,010
法人税等合計	12,848	124,096
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△43,172	190,595

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	64,138	554,211
減価償却費	396,446	444,992
減損損失	202,520	—
固定資産除却損	—	26,305
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	69,747
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11,926	255
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,549	△1,347
受取利息及び受取配当金	△374	△295
支払利息	19,514	13,947
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△4,000
新株予約権戻入益	—	△185
為替差損益(△は益)	△154	264
未払消費税等の増減額(△は減少)	2,520	△7,686
売上債権の増減額(△は増加)	10,880	△38,159
前受金の増減額(△は減少)	169,381	53,648
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,827	△55,133
仕入債務の増減額(△は減少)	16,183	29,861
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△18,325	△20,475
その他の流動負債の増減額(△は減少)	18,093	4,802
その他の固定資産の増減額(△は増加)	2,943	1,200
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△1,162	801
小計	880,056	1,072,756
利息及び配当金の受取額	386	319
利息の支払額	△19,322	△14,129
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	59,037	△61,996
営業活動によるキャッシュ・フロー	920,157	996,949
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△448,808	△513,248
無形固定資産の取得による支出	△30,390	△7,168
関係会社株式の売却による収入	—	3,000
敷金及び保証金の差入による支出	△103,927	△696
敷金及び保証金の回収による収入	5,678	8,800
投資活動によるキャッシュ・フロー	△577,447	△509,312
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△151,998	△143,658
自己株式の取得による支出	△79,534	—
リース債務の返済による支出	△124,547	△131,667
配当金の支払額	△38,776	△32,985
財務活動によるキャッシュ・フロー	△394,855	△308,310

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	154	△264
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△51,990	179,062
現金及び現金同等物の期首残高	822,747	1,172,070
現金及び現金同等物の四半期末残高	770,757	1,351,132

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。